

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意をお願いします。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付です。

コモロ連合月報（2026年4月）

《主な出来事》

【内政】

- 27日（マダガスカル' Express） 23日付の大統領令により、コモロ国民開発軍で大規模な人事刷新が実施された。アザリ・ルクマン中佐の憲兵隊副司令官就任など戦略的任命が相次ぐ一方、複数の高齢将校が7月1日付で退職。軍の若返りと新たな安全保障課題への対応が狙いだが、政治的思惑を指摘する声もある。

【外政】

- 20日（Al-Fajr） トルコで開催されたアンタルヤ外交フォーラムのマージンで、アザリ大統領はエルドアン・トルコ大統領と会談した。両首脳は、ガザ問題、経済投資等について協議した。

【経済】

- 29日（Al-fajr） コモロ議長国の下、モロニで「第15回インド洋諸島経済フォーラム」が開催された。域内貿易、食料安全保障、エネルギー転換、投資促進をテーマに地域協力と経済発展を議論。民間部門の役割を強調し、中小企業支援やプロジェクト融資での具体的成果を目指す。コモロは地域内の存在感強化も図る。

【社会】

- 9日（Al-fajr） 8日、創設20周年の国営ラジオTV公社（ORTC）が中国とライセンス協定を締結。機材近代化、職員研修、質の高いローカル番組制作を柱に、制作力強化と二国間関係の深化を図るもの。同公社総裁は公共メディアの近代化・人材強化で「より効率的で革新的」な局へ転換すると強調した。
- 24日（Al-fajr） コモロ連合はUNDPと中国の連携支援のもと、自然災害への対応力強化を目的としたHADHARIプロジェクトを正式に発足させた。予算規模は約216万米ドルで、中国の資金提供により国連開発計画（UNDP）が実施する。

1 内政

- 2日（Al-Fajr） 仏軍他とのテロ対策訓練（Papangue）の際、レユニオン島へ逃亡したコモロ軍脱走兵の1人が同地当局に拘束された。国防当局は厳罰・除隊方針を示し、今後は訓練を国内で実施する方針。<https://www.al-fajrquotidien.com/militaires-comoriens-deserteurs-a-la-reunion-undes-soldats-deserteurs-est-actuellement-aux-mains-des-autorites-reunionnaises/>
- 2日（Al-Watwan） 1日の閣議において、政府は石油ブロックの探査実施を承認し、カナダ系企業コロサル・エナジー・フィールズ・コーポレーション（Colossal Énergie Fields Corporation）による調査開始を認めた。一方で、契約や権利関係に関する法的リスクへの慎重な対応を求めるとともに、取得データの管理を国家主権の下に置き、近隣諸国との国境問題や将来的な紛争を回避するよう指示した。<https://alwatwan.net/politique/conseil-des-ministres-i-le-gouvernement-autorise-l%E2%80%99exploration-des-blocs-p%C3%A9troliers.html>
- 14日（La Gazette） 内務省と国連開発計画（UNDP）は、市警察と市民との距離を縮めるための取り組みを強化することに合意した。この取り組みには、200人の警察官に対する市民権に関する研修、

法的枠組みの強化、およびインフラと装備の改善が含まれる。

- 27日（マダガスカル’ Express） 23日付の大統領令により、コモロ国民開発軍で大規模な人事刷新が実施された。アザリ・ルクマン中佐の憲兵隊副司令官就任など戦略的任命が相次ぐ一方、複数の高齢将校が7月1日付で退職。軍の若返りと新たな安全保障課題への対応が狙いだが、政治的思惑を指摘する声もある。

2 外政

- 15日（La Gazette） 13日、「テロ対策イスラム軍事連合」の2026年度活動開始式典が国民議会で開催された。活動目的は、テロ資金供与の防止・検知・および対策に関する国内および地域の関係者の能力強化であり、式典には加盟国46の代表者、市民社会関係者、ジャーナリスト、防衛・治安部隊のメンバーらが参加した。
- <https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/coalition-islamique-contre-le-terrorisme-moroni-accueille-le-lancement-des-activit%C3%A9s-2026-.html>
- 20日（Al-Fajr） トルコで開催されたアンタルヤ外交フォーラムの-marginで、アザリ大統領はエルドアン・トルコ大統領と会談した。両首脳は、ガザ問題、経済投資等について協議した。
<https://www.al-fajrquotidien.com/cooperation-azali-et-erdogan-accelèrent-le-rapprochement-entre-moroni-et-ankara/>
- 27日（La Gazette） フランスとケニアが2026年5月、ナイロビで「アフリカ・フォワード・サミット」を共同開催する節目に、コモロ駐在フランス大使がLa Gazette紙へ寄稿。アフリカ全般には、対等なパートナーシップを掲げ、軍事撤退・植民地過去の清算を経て、保健・食料・エネルギー・連結性等の共通課題に取り組むほか、コモロではインフラ・再生エネルギー・文化など多分野での協力が具体的成果を上げている旨を説明した。
<https://mail.lagazettedescomores.com/opinions/le-sommet-africa-forward-la-concr%C3%A9tisation-de-partenariats-%C3%A9quilibr%C3%A9s-et-tourn%C3%A9-vers-l%E2%80%99avenir-entre-le-continent-africain-et-la-france-.html>
- 27日（Al-Fajr） ムバエ外務大臣は在コモロ・バングラデシュ大使と会談。両者は、保健・教育・農業・新技術分野での協力枠組み協定の締結に向けた原則合意に達した。バングラデシュは国連総会第81回議長候補へのコモロの支持も要請。相互尊重に基づく二国間パートナーシップの強化が確認された。

3 経済

- 20日（Al-fajr） 中国と商工会議所は、コモロの起業家を支援することを目的として、経済協力の強化に取り組むことを約束した。民間セクターとの作業会議を終え、中国は将来の経済特区設立の実現可能性を検討する予定である。
<https://www.al-fajrquotidien.com/cooperation-sino-comorienne-un-nouvel-elan-pour-la-cooperation-economique/>

- **20日** (Al-fajr) コモロとモロッコは、経済と観光分野での関係強化を目的として、両国間の航空ネットワークを整備するための覚書に署名した。
<https://www.al-fajrquotidien.com/transport-aerien-moroni-et-rabat-signent-un-accord-pour-renforcer-la-connectivite-et-les-echanges/>
- **29日** (Al-fajr) コモロ議長国の下、モロニで「第15回インド洋諸島経済フォーラム」が開催された。域内貿易、食料安全保障、エネルギー転換、投資促進をテーマに地域協力と経済発展を議論。民間部門の役割を強調し、中小企業支援やプロジェクト融資での具体的成果を目指す。コモロは地域内の存在感強化も図る。

4 社会

- **9日** (Al-fajr) 8日、創設20周年の国営ラジオTV公社 (ORTC) が中国とライセンス協定を締結。機材近代化、職員研修、質の高いローカル番組制作を柱に、制作力強化と二国間関係の深化を図るもの。同公社総裁は公共メディアの近代化・人材強化で「より効率的で革新的」な局へ転換すると強調した。
- **24日** (Al-fajr) コモロ教育省は、UNICEFと韓国国際協力機構 (KOICA) の支援を受け、幼稚園・小学校向けの気候変動教育ツールを共同策定するワークショップを開催した。気候変動に関するテーマを学校カリキュラムに体系的に組み込み、児童の環境意識を高めることを目的としている。
- **24日** (Al-fajr) コモロ連合は UNDP と中国の連携支援のもと、自然災害への対応力強化を目的とした HADHARI プロジェクトを正式に発足させた。予算規模は約 216 万米ドルで、中国の資金提供により UNDP が実施する。
- **29日** (マダガスカル L' Express) 2027年8月にコモロで開催予定の第12回インド洋諸島競技大会まで1年を切り、インド洋諸島競技委員会が現地を視察。建設中のオリンピック規格プール (収容 2,000人) や選手村などの施設整備が進んでおり、委員会は準備に自信を示しつつも国家・組織委員会による厳格な管理の必要性を強調。大会延期の可能性は否定された。

(了)